

## 第9回

# 女ひとと男ひとの一行詩

男女共同参画社会への認識を深めてもらおうと、身の回りで感じる「男女平等への想い」や「男女差別」などを詠んだ一行詩を募集したところ、全国から2,902点の作品が寄せられました。

数々の力作の中から入賞作品が決まりましたので、ご紹介します。(敬称略)

## 最優秀賞 家庭と社会 支える男女の ヤジロベー。 石川県金沢市 西森 茂夫

(選評)

何事もバランスが大切。家庭と社会、どちらが重いのでしょうか。男女のあり方をヤジロベーにたとえている視点が素晴らしい。

## 優秀賞

ホッとする 男子トイレに おむつ台。

茨城県つくば市 小関 理恵

手伝いじゃないよ 自分の人生だよ 暮らしも育児も。

北海道江別市 小杉 佳緒里

## 入選

娘は大胆にして天真爛漫、息子は繊細にして気配り上手、どちらも光る個性です。

兵庫県明石市 堂本 まり

食後には 妻のうしろで 皿をふく。

愛媛県今治市 長井 清孝

青空が見えるふたりでガラス拭き。

岐阜県岐阜市 後藤 順

ダメ主婦が 立派な主夫を 育てあげ。

北海道帯広市 岩見 節子

パパの背中は大きくて 保育所帰りは眠くなる。

広島県広島市 中山 邦夫

産休後 職場復帰を あたたかく。

東京都西東京市 大竹 真由美

さり気ない優しい言葉で頑張れる。

東京都新宿区 田中 真紀

## 特別賞

助けあい、支えあい、協力しあって生きていこう。

小野田中学校 江本 悠貴

ありがとう、その言葉で世界が変わる。

栃木県宇都宮市(瑞穂野中学校) 森田 佳明

## 男女共同参画講演会



■とき 6月16日(土) 13:30～15:00

■ところ 文化会館 大ホール (入場無料)

■講師 あいはらつぎお 相原次男 (山口県立大学大学院国際文化科学研究科長兼教授)

■演題 「支え合う あなたがきらり わたしがきらり」

■問い合わせ先 市民活動推進課 (☎ 82-1134)

▶来場者には、第9回「女と男の一行詩」の冊子を配布いたします。